

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成 27 年度第 6 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成 28 年 2 月 23 日 (火) 午後 3 時から午後 4 時まで		
開催場所	小金井市中間処理場事務所棟 研修室 I		
出席者	委員	<出席者：10 名> 渡辺会長・大江副会長・岡山委員・加藤委員・降旗委員・多田岳人委員・多田典子委員・北澤委員・勝又委員・鶴田委員 <欠席者：3 名>	
	事務局	小野ごみ対策課長・富田・穠山・佐藤・玉井	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 2 報 告 燃やすごみの処理量の昨年度との月別比較について 3 議 題 平成 2 8 年度一般廃棄物処理計画の策定について (審議) 4 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他	次回開催予定 平成 28 年 2 月 25 日 (木) 小金井市役所 市長室 (答申)		

審議過程（主な発言等）

渡辺会長	<p>これより平成27年度第6回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。清水委員から欠席の連絡が入っている。豊田委員と波多野委員は欠席するかも知れない。</p> <p>それでは、事務局から配布資料について確認をお願いしたい。</p>
富田減量推進係長	<p>(配布資料確認)</p>
渡辺会長	<p>前回の会議録の確認をする。意見・修正等があればお願いしたい。</p> <p>10ページの私の発言に「ホームページ」と「ウェブサイト」と言う表現が混在しているので、「ウェブサイト」に統一したい。修正して公開手続きに入ることとする。</p> <p>では、事務局から提出資料に関して報告と説明をお願いする。</p>
富田減量推進係長	<p>(提出資料について説明)</p>
穂山清掃係長	<p>(平成28年度 ごみ・リサイクルカレンダーについて説明)</p>
小野ごみ対策課長	<p>(「平成28年度 一般廃棄物処理計画」の修正案第2稿について説明)</p> <p>【口頭追加・修正】</p> <p>14ページ、計画項目「1 ごみを出さないライフスタイルの推進」の施策「3R行動チェックシートの作成」の下に「生ごみの水切り及び自家処理等の推進に関する調査・研究」、実施目標「小委員会等の検討機関の立ち上げ」を追加させて頂きたい。また、15ページの「2 リユースの推進」の施策「リユース施策の調査・研究」を「リユース推進施策の調査・研究」に修正させて頂きたい。</p>
渡辺会長	<p>提出資料の「燃やすごみの処理量の昨年度との月別比較について」とカレンダーに関して何か質問・意見等は無いか。</p>
加藤委員	<p>事業系のごみが増えていることについて、どのような対策を考えているのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>事業所が増えることによってごみが増えることは止むを得ない。しかし、小金井市が置かれている状況等を考慮すると、排出状況については組成分析や抜き打ち検査を随時実施しているが、排出がきちんとされていない部分については、収集運搬許可業者と連携して、事業者への指導・助言を引き続き強化していきながら、事業所から出されるごみについても一般家庭から出されるごみと同じようにきれいなごみを出して頂きたいと考えている。</p>
加藤委員	<p>カレンダーに関してだが、前年度と変わった部分を説明して頂きたい。</p>
小野ごみ対策課長	<p>今回は、大きな変更は無いが、枝木の回収等分かりにくい表現は丁寧に</p>

審議過程（主な発言等）

<p>渡辺会長</p>	<p>説明している。また、くるカメ大作戦チェックリストを付けている。これは、市報のごみ減量・リサイクル特集号に記載のものとはほぼ同様のものだが、家庭で3Rの中でもリデュースを重点的にチェックして頂けるような記載をした。基本的に分かりにくい表現を分かり易くした。</p> <p>では、計画の修正に関して質問等はあるか。3ページの算出方法の冒頭「平成27年度処理量（推定）」の部分の「推定」を「推計」に訂正したほうが良い。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>枝木・雑草類・落ち葉の回収方法の見直しの検討、集合住宅への排出指導、大型生ごみ処理の要綱の見直しに関しての状況を報告して頂きたい。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>先ず枝木・雑草類・落ち葉の回収方法の見直しの検討だが、現段階で決定事項として報告できる状況に至ってはいない。業者さんと調整を行っているところだ。枝木は市職員も回収を行っているので、職員の中でも協議をしていきたい。</p> <p>二つ目の集合住宅への指導だが、排出方法が適切ではないと思われる集合住宅へは、大家さんや管理人さん、不動産屋さんから連絡を頂いた段階で、電話対応が困難な場合は出向いて、大家さん、管理人さん、不動産屋さんと一緒にゴミ袋を開けて具体的に適正な排出方法を提案させて頂いている。最終的には、大家さん、管理人さん、不動産さんの判断によって私どもの提案を受け入れて頂くかどうかという話になるが、過去の事例等も説明して、引き続き丁寧な対応をしていきたい。</p> <p>また、大型生ごみ処理機の要綱の見直しについては、平成28年度予算編成の中で大きな変更は叶わなかった。懸案となっている市による設置場所の確保や、ランニングコストの補助については、検討の結果、現時点では修正及び訂正はしない。今回の要綱見直しでは、高額な機械を購入して頂くにあたって補助金の額の見直すと言うことで、従前の100万円から150万円に限度額をアップして予算に計上している。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>生ごみの有効利用に向けた調査・研究が「随時」から「小委員会など検討機関の立ち上げ」となっているが、検討委員会を立ち上げるということがはっきりしたということで良いのか。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>形式等については改めてご相談させて頂くが、ここに「小委員会などの検討機関の立ち上げ」と書かれているように、28年度中に立ち上げるように努力しなければならない。</p>
<p>岡山委員</p>	<p>今日、結審したとしてもこれを出すのは日付としては平成28年4月1日になる。今日は、《修正案 第2稿》を消す作業を行うわけだが、4ページ以降、27年度施策の実績に関する評価がある回数だが、正式には事業概要で触れられるのだろうが、いつまで「9月末時点」が続くのか。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>考え方の問題だ。9月末の上半期の段階で一度評価をさせて頂いてい</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>る。減量等推進審議会の中でも27年度の施策の上半期の時点で、評価についても報告させて頂いている。下半期についても27年度事業が完了してから、審議会を開催し、下半期の評価を頂きたいと考えている。そこで、計画では上半期、下半期として載せさせて頂きたい。</p>
岡山委員	<p>15ページの下方「ごみ相談員（ごみゼロ化推進員）」とあるが、その他の部分では「ごみゼロ化推進員」となっているので、この「ごみ相談員」という言葉を残す必要があるのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>私どもは引き続きごみゼロ化推進員の方と連携しながらごみ相談員のあり方を検討していかなければならないが、ごみ相談員制度が平成23年度に制度化されているので、「ごみ相談員」という表現は載せさせて頂きたい。</p>
岡山委員	<p>廃棄物処理法に定められているのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>市独自の相談員制度だ。ごみ相談員の役割については、ごみゼロ化推進員の方々と調整して行きながら、ごみ相談員制度をより高めていきたい。基本にごみ分別の相談を頂いたときに分かる範囲で答えるという形になっている。しかし、制度上はごみゼロ化推進員イコールごみ相談員だが、ごみゼロ化推進員の中には、ごみの分別について自信がなく、ごみ相談員としての活動を躊躇している人もいる。その中でどうやって連携を取るのかと言う部分もあるので、敢えてこのような表現にしている。</p>
岡山委員	<p>現在はイコールだけれど、認定している人は違うのか</p>
富田減量推進係長	<p>同じ人にやって頂いているので変える予定はないが、「3分別の徹底」の「(2) 正しい分別方法の周知」という部分については、ごみ相談員として市民の方に対して、相談に乗るという位置付けであり、ここはごみ相談員という名前が活かされている。それ以外の部分の行政との連携や情報交換のところに関しては、ごみゼロ化推進員として委員会の中での活動であり、特にごみ相談員という名称を謳っていないという理由で、今のところは使い分けている。</p>
小野ごみ対策課長	<p>本当は、ごみゼロ化推進員の皆さんにごみ相談員になって頂きたいのだが、自信がないので相談員は出来ないという方が多い。引き続き連携を強化しながら、ごみゼロ化推進員の方全員にごみ相談員としての役割も担って頂きたいと考えている。</p>
加藤委員	<p>啓発部会、事業所部会、まち美化部会の3部会ある。約90名のうち、半分程度がまち美化部会だ。まち美化部会には町会の推薦の方もいて、中にはごみ減量等に関して特に詳しいわけではない方もいる。ポイ捨てなどまちをきれいにすることが中心で、減量やリサイクル、生ごみ処理機に関する事等については自信がない人が多い。一方、啓発部会や事業所部会</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>は、ごみ相談員が多い。これから少しずつレベルアップしていくかも知れない。</p>
降旗委員	<p>市民から質問があったときは、「ごみ分別の手引き」に基づいて答えている。</p>
岡山委員	<p>各自治体には名称は違うが、クリーンリーダーとか清掃委員とかがいる。</p> <p>廃棄物処理法上で市民の中から選定しようということなので、それに該当するのが、ごみゼロ化推進員なのか、ごみ相談員なのか、どちらなのか疑問に思っただけだ。今の話だと、ごみゼロ化推進員がそれに当たるのだろう。本来のミニマムな役割を超えてごみ相談員という役割をお願いしているが、100%移行していないという状況だと思う。</p> <p>16ページの「7地域におけるひとつづくり・まちづくりの促進」の「ごみゼロ推進会議の開催支援」の部分だが、推進員さんが調査・研究したいとか、見学したいとか講演会や研究会を開きたいという場合、事務的なことだけでなく、市が支援しているのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>支援している。</p>
北澤委員	<p>15ページ「3分別の徹底」の「スマートフォンを活用した周知方法の検討」、「随時検討」となっているが、16ページ「5啓発活動の強化」のところでは「スマートフォンを活用した周知方法の検討」が、「随時」となっている。ここは、「随時検討」ではないのか。</p>
富田減量推進係長	<p>訂正する。</p>
北澤委員	<p>27年度の9月時点までの評価の中で、「随時」が「随時」になっているのは良いのだが、少なくとも1年の評価となると「随時」が「随時」で終わるのは如何なものか。例えば研究や支援を1回やったのか、やらなかったのか書いて頂けるのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>新年度に入ってから私たちの自己評価の中で、皆さんに評価して頂く部分では、出来るだけ書きたい。</p>
鶴田委員	<p>別紙のごみ処理フロー図だが、平成27年度が28年度に直っていない。また、2ページ（1）の下方、「平成27年度の減量目標の～見込みです」と言う部分だが、可燃系ごみは目標に達成していないと思うので並列表現は良くないと思う。例えば、「ごみ排出量は、391.6gとなり、目標を達成する見込み（可燃ごみ〇g、その他〇g）」と表記したほうが、（3）の内容に上手く繋がるのではないかと思うのだが、いかがか。</p>
富田減量推進係	<p>工夫して分かり易く修正したい。</p>

審議過程（主な発言等）

加藤委員	<p>16ページの「7地域におけるひとづくり・まちづくりの促進」の「(3) 集団回収事業の支援」の部分だが、26年度の事務報告等を見ると、新聞の回収は市の回収と同じ位だが、雑誌や段ボールは少ない。集団回収についての取り組みを強化して頂きたい。</p>
小野ごみ対策課長	<p>平成26年度の実績上も、最近の新聞離れ等の影響もあって新聞は減っているが、雑誌等は増加傾向にあると認識している。27年度の具体的な数字が出た段階で、機会があれば皆さんに報告したい。</p> <p>私たちは、集団回収推進の立場なので、市が資源物回収として集めさせて頂いていることも分別の中では必要だが、集団回収に出して頂き、地域の活性化に繋げて頂きたいという気持ちを持っている。ご指摘を受け止めて、集団回収の推進に向けた様々な啓発活動を強化していきたい。</p>
加藤委員	<p>新聞は行政回収しない方向を出している自治体もある。</p>
多田典子委員	<p>子供会で集団回収をしている立場で様子を見ているのだが、年に何回かしかやれない団体もある。時期や頻度の問題は大きく、段ボールなどの嵩張るものは、市の回収に出している人が多いと思う。子供会でも呼び掛けていく必要があるのではないか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>子供会や自治会の集団回収の推進に向けた呼び掛けをしているが、今より集団回収を利用して頂けるような啓発活動に取り組む。同時に回収日の調整等については地域の方にやって頂くことになるが、回収業者のほうは、いつでも回収に行けるよう努めているので、地域の状況によってかなり柔軟に対応出来ると思う。支援の要請があれば、私たちも支援させて頂く。</p>
加藤委員	<p>私の所属の中町3丁目親愛会では、玄関先に出して集団回収支援事業者に戸別に近い回収をして貰っている。1軒の場合もあるし、5軒でまとめてという場合もあって、全部で60箇所くらいだ。業者に相談すれば柔軟に対応してくれる。</p>
小野ごみ対策課長	<p>戸別回収は、市でも戸別回収を行っているのですが、私たちとしては、余り推奨出来ない。地域の状況に応じて、持ち去り行為が多いとか、出す場所がないなどの事情がある場合は、そのような戸別に近い対応もあるかと思う。しかし、本来は集団回収なので、基本的に地域で集まって地域で決められた日に出して頂きたい。</p>
岡山委員	<p>18ページ「3廃棄物関連施設の整備」の実施目標に「平成29年度中に策定」を今年載せる必要があるのか。「災害廃棄物処理計画及びマニュアルの策定」も「策定」と書いてあるので、施策としては策定しなければならないが、目標としては「28年度中には策定しない」とも読める。両方とも計画の策定という施策に対して28年度の目標は、例えば「検討・着手」とか「準備・調査」とかでも良いのではないかと。策定年度が明確に</p>

審議過程（主な発言等）

<p>渡辺会長</p>	<p>決まっているものについては、括弧付けしては如何か。</p> <p>表現の問題だ。「平成29年度策定に向け～」とか、「調査・研究（平成29年度中策定）」とか。</p>
<p>岡山委員</p>	<p>策定に向けた準備をするのであれば、中間で評価しているというのでも良いのではないかと思う。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>平成28年度から取り掛かるが、完成するのが平成29年度だ。</p>
<p>岡山委員</p>	<p>では、表現としては「着手」だと思う。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>減量等推進審議会に諮問させて頂き、答申頂いたものを市で決定し、計画となる。今回の予算の審議が3月中頃以降になるので、その段階でこの表現が変わって来るかも知れない。審議会としての答申を頂く段階では、「28年度着手、29年度までに策定」と言う表現で検討させて頂く。ただし、予算の状況によっては、決定の段階で、この表現は若干変わっているかも知れないということをご理解頂きたい。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>表現等の問題に関しては、事務局と会長・副会長に任せて頂きたい。また、計画に関しては、この辺で結審という形にしたいのだがいかがか。</p> <p>では、若干の修正を加えた上で、私が、2月25日木曜日午前9時から市長に答申するという形にする。後日、答申した実施計画の写しを事務局から委員の皆さんに郵送する。予算成立を条件としている箇所等があるので、答申後に調整する場合もあるということをご了承頂きたい。また、新年度に入って、任期中に平成27年度施策の実績報告に関する審議会を1回開催する方向で調整している。開催日程については、改めて通知する。</p> <p>これをもって審議会を終了する。</p>

以上